

## -臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、血液内科では本学で保管している診療情報等を使って下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 造血幹細胞移植後のサバイバー生存率の検討

[研究対象者]

1985年から2024年12月末日までの間に、血液内科にて血液疾患と診断され造血幹細胞移植を受けられた方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：年齢、性別、同種造血幹細胞移植時病期、ドナー・細胞種類、ヒト白血球抗原適合度、患者・ドナーの性別の不一致、HCT-CI スコア、移植前の performance status、診断から移植までの期間、移植前処置、前化学療法レジメン数、抗ヒト T 細胞グロブリン使用の有無、移植片対宿主病（GVHD）予防、再発診断の有無、生存状況、移植後の疾患の状況、急性 GVHD の有無、慢性 GVHD の有無、好中球数 500/ $\mu$ L 以上の到達日、血小板数 2 万/ $\mu$ L 以上の到達日、サイトメガロウイルス感染症の有無、二次性生着不全の有無、類洞閉塞症候群 / 肝中心静脈閉塞症の有無、非感染症肺合併症の有無、移植後リンパ増殖性疾患の有無

[利用の目的] （遺伝子解析研究：無）

造血細胞移植後のサバイバー生存率を算出します。

生存率を低下させるような移植後合併症の問題点について解明することを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2029年3月末日までの間（予定）

-----  
[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されないことがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 血液内科 職名 講師 篠原明仁

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 血液内科 篠原 明仁

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）